

平成 24 年度第 1 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 24 年 7 月 7 日 (土) 午前 10 時～12 時 00 分

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

3 出席者

(委員) 根津委員長 坪井委員 松本委員 西脇委員 土久委員
奥委員 須賀委員 藤田委員 高橋委員

(事務局) 石川生涯学習部長 加藤生涯学習部次長 森田館長
齋藤副館長 加藤副主幹 本多係長 森田副主査

4 議題

(1) 報告事項

- ①平成 23 年度利用統計及び実績について
- ②平成 23 年及び 24 年度図書館自己点検評価について
- ③浦安駅前行政サービスセンターにおける図書サービスの開始について
- ④その他

(2) 協議事項

- ①中央図書館開館 30 周年記念事業について

5 議事の概要

- ① 平成 23 年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。
- ② 平成 23 年及び 24 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- ③ 浦安駅前行政サービスセンターにおける図書サービスの開始について、事務局より報告を行った。
- ④ その他として「Eレファレンスについて」「蔵書点検について」「各種行事について」、事務局より報告を行った。
- ⑤ 中央図書館開館 30 周年記念事業について、協議を行った。

6 会議経過

- ① 平成 23 年度利用統計及び実績について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見(質問)は次のとおり。
(質問) 全館開館時間はすべて戻っているのか。
(回答) 高洲分館の開館延長分以外は戻っている。
(質問) 利用者でも知らない人が多いのではないかと。夜間の必要な時にしまってい

るような印象があり、それが1年続いていたのでその意識が染みついている。積極的にPRしたほうがよい。

(回答) 広報や、ホームページ、ポスター等で周知をしている。徐々に浸透しており、利用も戻りつつある。

(質問) 転入者が減っているとのことだが、人口は平成22年から純粋に減っているのか。

(回答) 人口自体、2年前に比べ減少しているが、6月末の比較で1800人弱である。しかし、市政始まって以来、初めて人口が減少したところである。

(意見) 開館時間が減少していたにもかかわらず、調査回答の件数が増えたことは評価できる。震災関係が多かったとのことだが、図書館の存在感を示せたのではないか。具体的にどんな問い合わせに答えたかなどを公開し、PRに役立てるとよい。

(意見) 図書館に来館してみないとわからないこともある。新しいサービスをする場合など、来館しない人たちにもアピールすることを考えてもらいたい。

(意見) 貸出減少となっているが、震災による休館など致し方ない部分もあるのだから、公の事業としての説明の表現に工夫をしたほうがよい。

② 平成23年及び24年度度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(意見) 昨年は未曾有の災害の中、図書館はこれだけ頑張ってきたとの印象を受けた。

(意見) 平成23年度の報告について、総括の内容がアウトプット中心であり、アウトカム部分を強調したほうがよい。また、インプット部分については日本図書館協会から数値化の指標も示されており、蔵書数等数値化を盛り込んだほうがよい。アウトプット部分で目標値が数値化されているのはよいが、24年度の目標が高い気がする。現状を維持するだけでも大変なことである。アウトカムの充実が目標であり、毎年増やす必要もない。慎重に設定したほうがよい。

(回答) 現在、係単位に作成しており、係単位で積み上げる部分と、全体を見る部分を盛り込むことを検討してゆきたい。

③ 浦安駅前行政サービスセンターにおける図書サービスの開始について、事務局より報告を行った。

意見(質問)なし

④ その他として「Eレファレンスについて」「蔵書点検について」「各種行事について」、事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- (質問) 推薦図書リストの「よむよむ」は学校に配布されるのか。
- (回答) 学校や、保育園、幼稚園の該当する学年に配布する。
- (意見) 選ばれている本がよく精査されている。復活してうれしく思う。
- (意見) 浦安の図書館はいろいろなサービスをやっていると思う。その内容を外に向けてアピールすることが大切である。
- (意見) 震災による1ヶ月の休館や、催しの中止により図書館へ行く習慣が遠のいたとの声も聞いている。そのような中で、この程度の利用の減少で済んでいるのは図書館員の努力によるところである。普段図書館を利用しない人や、利用が遠のいている人に、講演会などの行事は利用のきっかけとなり効果的である。
- 中央図書館は遠いので、分館をよく利用する。ホームページにいろいろな案内が載っているが、分館でも来館した人が、図書館の事業を知ることができるように、掲示による周知を考えてもらいたい。
- (意見) 図書館網が整備されている浦安では、多くの子どもたちの利用する姿をみることができる。しかし、まだ図書館に足を運んでいない市民もあり、まだ利用していない市民に対してもPRをしてもらいたい。
- (回答) 図書館では転入者に対するPRにも取り組んでいるが、PRについて課題として受け止めている。

中央図書館開館30周年記念事業について、協議を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- (質問) 25周年の時には大勢の人が来てくれて、こんなにうれしいことはなかった。また、たのしい企画を望みたい。スタンプラリーは、子どもだけではなく、大人向けのものも企画したらどうか。図書館友の会でも、しおりなどの景品の作成に協力したい。
- (回答) 昨年実施したスタンプラリーは想像以上に子どもたちの反応がよかった。大人向けのものも企画の参考にしたい。
- (質問) 大学でのイベントにおいても、景品があると効果がある。大学ではいろいろな部署から景品になりそうなものを集めて実施している。図書館だけではなく、各部署の配布物等も利用したらよいと思う。
- 30周年の記念誌は作らないのか。
- (回答) 今のところ館報の特集等で報告することを考えている。
- (意見) 今までの図書館の歩みでよい、市民サービスのPRにもなり、今後に残るものとなるので考えてもらいたい。
- (意見) 市の広報などでの特集も考えてもらいたい。
- (意見) 記念植樹も検討されていることだが、どんな木を植えるか、市民公募するなど、市民が参加できるものにしたらどうか。
- (意見) 30周年を図書館利用のきっかけづくりに利用し、今からPRしていったらどうか。

(意見) 大人の参加できるイベントがよいと思う。ビジネス支援や、高齢者も興味を持つ企画を進めてもらいたい。

(意見) 過去の、ラウンジやフロアで行ったコンサートは大変良かった。美術館や、博物館でもよく行っており、一般の利用者の理解を得て実施してもらいたい。

(意見) イベント参加者だけではなく、より広く参加できるものがよい。駐車場にみんなで集まって、上から写真を撮るなど大勢の人が参加できて面白いと思う。

(質問) 雑誌の減を感じている市民も多いようだ。

(回答) 雑誌の減少は市民に対する影響が大きく、貸出の減少にも影響している。

(意見) 資料費が復活した時には、図書館の努力を見てもらうという意味で、それをアピールしたほうがよいと思う。

7 傍聴者 0名